



「ニコン Z マウントシステム」対応の超望遠単焦点レンズ「NIKKOR Z 800mm f/6.3 VR S」を開発

株式会社ニコン

2021年12月14日

株式会社ニコン（社長：馬立 稔和、東京都港区）は、「ニコン Z マウント」を採用したフルサイズ（ニコンFXフォーマット）ミラーレスカメラ対応の超望遠単焦点レンズ「NIKKOR Z 800mm f/6.3 VR S」の開発を進めています。



※上の画像は、市販する製品の外観とは異なる可能性があります。

「NIKKOR Z 800mm f/6.3 VR S」は「S-Line」※に属し、高い解像力に加え、色にじみを徹底的に抑えることで、迫力のある描写を可能にするレンズです。小型・軽量化を可能にするPF（Phase Fresnel：位相フレネル）レンズをNIKKOR Z レンズとして初めて採用し、超望遠レンズでありながら、優れた携行性を有しています。高い描写力と機動力によりハイアマチュアからプロフェッショナルフォトグラファーまでの撮影をサポートします。

ニコンは、今後も新次元の光学性能を追求し、ユーザーのニーズに応えていきます。そして、映像表現の可能性をさらに広げることを目指し、映像文化の発展に貢献します。

※「S-Line」は、NIKKOR Z レンズにおいて設定されたグレードで、ニコン独自の設計指針と品質管理を高い基準でクリアしており、特にハイレベルな光学性能を発揮します。

NIKKOR Z レンズラインナップ予定表（～2023）

[illegible]

関連リンク

映像関連製品：ニコンイメージング ホームページ

<https://www.nikon-image.com/>

—

※こちらに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。販売が既に終了している製品や、組織の変更等、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。